

実践報告

## “泉州 RUSH” プロジェクト報告・Ⅳ

——大阪観光大学学生による地元地域活性化に向けた取り組み——

A Report on ‘SENSHU RUSH’ Project - IV -

——An Approach to Revitalize Senshu Area made by  
the students of Osaka University of Tourism——

橋本佳恵\*

HASHIMOTO Yoshie

Osaka University of Tourism is located in Senshu, the southern area of Osaka prefecture. In the summer of 2008, some of the University students started a project named “SENSHU RUSH”, and they tried to revitalize the area from their perspective of tourism. First of all, they opened a new lecture course about Senshu area. The course, with lecturers by the faculty teachers, local administrators and industry managers, was open also to the public. On the next step, in order to appeal the charms of the area, they planned and carried out excursion programs to visit some local sights. They also provided some events held there. This report shows what the students have achieved and how much they are contributing to the promotion of the area through the RUSH project.

キーワード：泉州 RUSH プロジェクト (The SENSHU RUSH Project)、泉州地域活性化 (revitalization of Senshu area in Osaka prefecture)、学生による地域活性化貢献 (students' contribution of the regional vitalization)、協働事業 (collaborative project)

### 1. “泉州 RUSH” プロジェクト活動概要

本論は、大阪観光大学学生有志による“泉州 RUSH”プロジェクト活動報告-Ⅳ-である。前報告-Ⅲ-（「大阪観光大学紀要」第14号）後から本稿執筆までの概ね2014年春から2015年年度末までの活動の概要を記す。

“泉州 RUSH”プロジェクトは、泉州地域で観光を学ぶ学生の視点で新たな地域魅力を発見・発信していくことを目標に、筆者のゼミナール7期生が立ち上げたプロジェクトである。当ゼミナールではそれに先立つ2006年度頃から、当時の5期生らと共に地域でのフィールドワークを行っていたが、2008年のRUSHプロ

ジェクト発足から産官と連携した活動が始まった。

2009年4月、地域連携講座「泉州観光学入門」が開講され、それがきっかけとなって同年秋から、泉州9市4町と大阪府および関西国際空港による「泉州プロモーション実行委員会」（当時）が推進する泉州広域プロモーション事業に参画する機会を得た。同委員会が展開する「泉州地域プロモーションバスツアー」に、2009・2010年度の2回、コース提案、広報紙デザイン、ツアー当日の添乗補助で参加した。

熊取町では、2010年に「熊取町協働憲章」が策定され、2011年度から「住民提案協働事業」制度が始まった。RUSHプロジェクトは「観光による地域のにぎわい創造」を提案して採択され、事業実施に至る。RUSHプロジェクトの提案事業は、翌年度、翌々年度も採択さ

\*大阪観光大学観光学部

れ、‘同一テーマ3年’の規定により2013年度に一旦終了した。2014年度においては、「地域活性化事業合意書」を取り交わして実施した。2011年度からの3年間の取り組みに一定の評価をいただいたものとする。

2015年度には、協働事業に「行政提案型」区分が新設された。企画部シティプロモーション推進課により、「熊取町の魅力を内外に発信する事業」の募集があり、RUSHプロジェクトとして応募、プレゼンテーション審査を経て採択された。

提案内容は、地域連携講座の開講と地域プロモーションバスツアーの実施である。地域連携講座は2009年度から開講しているものであるが、さらに継続する。講座は一般に公開し、学生と地域住民が地域についてともに学ぶ場とする。地域プロモーションバスツアーについては、熊取町および町隣接地域を目的地とする着地型企画旅行「味わい泉州－熊取町の旅－」を、さらに、町内交流イベント「大人の社会見学」を実施する。前者は、主として大阪市内や北摂地域など泉州以外の方がたに泉州の魅力を知り味わっていただく日帰りバスツアーで、2011年度から継続しているものである。後者は、地域住民を対象とする交流イベントで、2012年度から継続しているものである。

## 2. 熊取町との協働事業

### (1) 熊取町住民提案事業への参画

前述の通り、熊取町では、「熊取町協働憲章」に基づき行政と住民による協働の町づくりが推進されている。泉州RUSHプロジェクトは、地域で観光を学ぶ若者の視点で地域振興をテーマに事業提案を行い、住民部にぎわい創造課と協働で事業を進めてきた。

2014年4月には、企画部シティプロモーション推進課が開設され、それ以降、同課の支援を受けて事業を推進している。

### (2) 着地型企画旅行「味わい泉州－熊取町の旅－」の実施

地域情報の発信を旨として、着地型企画旅行「味わい泉州－熊取町の旅－」バスツアー事業が実施されている。このツアーの最大の‘売り’は、学生の企画・案内で泉州の伝統産業や地場産品を紹介し、参加者にこの地域の魅力を知ってもらうことにある。地域連携講座を通してプロジェクトメンバー自身も泉州について学びながら、毎年新たなコースを提案している。

2014年度は、天王寺を出発、長池オアシス（農林水産省「ため池百選」、大阪ミュージアム構想「みどり・自然部門ベストセレクション」）でオアシスとハスの花の鑑賞、ハスの実入りぜんざいやハス茶、象鼻杯を体験、その後、野菜出荷協議会水なす部会長さんの水なす畑を見学し浅漬けを試食した。JA直売所に立ち寄り、交流センター煉瓦館内のフレンチレストランで地場産品の昼食、その後は煉瓦館（経済産業省近代化産業遺産）と隣接の中家住宅（国指定重要文化財）の見学、藍染め・ハスの実クラフト・水なすの浅漬け体験を行った。RUSHオリジナルの冷菓“包近桃のゼリー”試食後、泉佐野漁協に立ち寄り、大阪市内で解散した。

長池オアシスの見学とハスの実クラフトでは長池オアシス管理会の皆さんに、藍染め体験はわたっ子クラブの皆さん、浅漬け体験は婦人会の皆さんに、それぞれご案内やご指導をいただいた。

2015年度は、恒例の長池オアシス見学の後、水なす畑の見学と収穫体験を行った。水なすは大変デリケートな野菜で傷がつきやすく、旬を迎える時期にあって病気が持ち込まれるなどがあると影響が大きいとのことでこれまで実現が難しかったが、水なす部会長さんのご好意で畑での収穫体験が初めて実現した。地場産品の昼食後、各自が収穫した水なすを用いてぬか漬けづくりを行った。その後はオリジナルの“みかんプリン”の試食、秋にオープン予定の新施設「永楽ゆめの森公園」（建設現場）の見学、漁協に立ち寄り、天王寺にて解散した。

ここでも、長池オアシス管理会の皆さん、婦人会の皆さんにお世話になった。

ツアーバスの交流センター到着時には町長とマスコットキャラクター“ジャンプ君”・“メジーナちゃん”の出迎えがあり、だんじり前で写真撮影が行われた。煉瓦館や中家住宅、永楽ゆめの森公園見学にあたっては役場の関係課職員に案内いただいた。シティプロモーション推進課の皆さんには、ツアー当日の同行を始めツアー前後随所で支援いただいた。

ツアーには、毎回、RUSHプロジェクトが考案したオリジナルスイーツの試食を組み込んでおり、5年間のうちには、水なすのコンポート、包近桃ゼリー、みかんプリンなどを提供してきた。今回もオリジナルスイーツの調理は、レシピ開発で指導いただいている山中弓子さん（全国学校調理師連合会名誉会長）が協力下さった。また、一般募集で催行するにあたり、卒業生の縁で、第2回目以降、主催の取り扱いを旅行会社クラウン観光公社にお願いしている。

参加者の募集には毎年苦戦しながらも、幸い、新聞各社に告知記事が掲載されそれなりの反響があり、定員一杯、時にはキャンセル待ちも出る盛況で催行できている。

ツアー中の誘導や案内、バス車内でのガイドは RUSH メンバーが分担して担当しているが、行き届かない点多々あり、毎回、参加者からの指摘やアドバイスをいただいている。参加者アンケートでは、見学・体験・食事・学生の案内など概ね高評価をいただいている。

### (3) 地域交流イベント「大人の社会見学 in Kumatori」の実施

日帰りバスツアーが泉州地域外の方がたに地域の魅力を発信することを目的としているのに対し、「大人の社会見学 in Kumatori」は熊取町住民に向けたイベントであり、町民の地域再発見と、町民同士また町民と学生との交流促進が目的である。2012・2013 年度は「旬の熊取を五感で楽しもう！」をテーマに実施したが、2014・2015 年度は泉州地域の多様な資源について“学ぶ”ことを目標に企画した。

2014 年度においては、移動に地域のコミュニティーバスを利用することとなり座席数が限られ、12 名を募集した。地元の伝統の菓子工場見学と町内の永楽ダムの監査廊を見学、昼食は本学でオリジナルメニュー試食を楽しんでいただいた。

菓子工場見学では菓子が製造されるまでの行程を見学し、焼きたての和菓子を試食した。永楽ダムは桜の名所でもあり町民誰もが知る施設であるが、監査廊の見学やダムの水から生産された上水の試飲の機会はほとんどないため、貴重な体験となったようである。本学到着時には高層階から地域の眺望を楽しんでいただき、その後、学生食堂での試食会となった。メニューは、本イベントに向けて、プロジェクトメンバーが山中弓子先生とともに開発したものである。当日は山中先生を始め調理師連合会の皆さん、JA 大阪泉州「こーたりーな」に総菜コーナーをもつ伐栗氏らの協力を得て、犬鳴きポーク（関紀産業）をメインに、地場産品を使ったフルコースメニューを提供した。

2015 年度は、企業博物館である大阪ガス科学館と、前年度に引き続き永楽ダム監査廊を見学した。昼食は、山中先生が運営されている農家レストランにお世話になった。山中先生とは事前にメニューの打合せを行い、食後には RUSH 考案の玉葱のデザートを提供した。

シニア世代の参加者に混じってお子様連れのファミリー参加もあり、にぎやかなイベントとなった。参加者アンケートには、「改めて地元の魅力を発見した」「楽しい体験をした」などの意見が寄せられた。

本イベントでも町職員の同行支援をいただいた。

### 3. 地域連携「泉州観光学講座」の開講

「泉州観光学講座」は、座学とフィールドワークからなる。座学は、本学教員、熊取町・泉佐野市を始めとする観光行政担当者、地域の産業関係者らによるオムニバスで展開されている。全 15 回のうち半数ほどを地域連携講座として公開しており、各回 10 数名の一般の聴講があった。プログラムは、表-1、表-2 の通りである。

フィールドワークは、学生が地域の歴史や文化財、伝統産業や地場産品などについて学ぶことを目的として、担当教員の指導のもとで学生たち自身が企画し、期間中の土曜日に 2 回実施した。筍や玉葱の収穫体験、藍染め等伝統産業の体験、JA や漁協の見学、施設見学やボランティア活動などが組み込まれ、学生たちは楽しみながら地域についての理解を深めた。

開講にあたり、一般聴講者への対応、フィールドワークの企画運営補助などに RUSH メンバーが協力している。ゲストスピーカーによる講義や地域実習、地域住民との交流は、プロジェクトメンバーにとっても協働事業として実施するプロモーションバスツアーに向けたよき学びの場となっている。

表-1 地域連携「泉州観光学講座」(2014 年度)

日程	テーマ	講師
第 1 回 (5/8)	泉州 RUSH プロジェクト活動報告	泉州 RUSH プロジェクト
第 2 回 (5/15)	「泉州観光学ことはじめ」	大阪観光大学名誉教授 中尾清
第 3 回 (5/22)	「泉佐野市の観光資源と取り組み」(1)	泉佐野市生活産業部 まちの活性課 西納久仁明
第 4 回 (5/29)	「熊取町の観光資源と取り組み」(1)	熊取町住民部自治振興課 下中豊博・森祐一
第 5 回 (6/5)	「泉佐野市の観光資源と取り組み」(2)	泉佐野市生活産業部 まちの活性課 西納久仁明
第 6 回 (6/12)	「熊取町の観光資源と取り組み」(2)	熊取町企画部シティプロモーション推進課 蓑原大祐・久堀愛美
第 7 回 (6/19)	「根来街道の観光資源を巡る」	泉南市市民生活環境部 産業観光課 水田好彦

第8回 (6/26)	「岬町の観光資源と取り組み」	岬町まちづくり戦略室 保井太郎
---------------	----------------	--------------------

表-2 地域連携「泉州観光学講座」(2015年度)

日程	テーマ	講師
第1回 (5/7)	「泉州観光学とはじめ」	大阪観光大学名誉教授 中尾清
第2回 (5/14)	「熊取町の観光資源と取り組み(1)」	熊取町企画部シティプロモーション推進課 久堀愛美
第3回 (5/21)	「熊取町の観光資源と取り組み(2)」	熊取町住民部自治振興課 大雄英行
第4回 (5/28)	「泉佐野市の観光資源と取り組み(1)」	泉佐野市生活産業部 まちの活性課 西納久仁明
第5回 (6/4)	「エコフィードの活用と6次産業化の取り組み」	有限会社関紀産業 川上幸男
第6回 (6/11)	「根来街道の観光資源を巡る」	泉南市市民生活環境部 産業観光課 水田好彦
第7回 (6/18)	「泉佐野市の観光資源と取り組み(2)」	泉佐野市生活産業部 まちの活性課 目武
第8回 (6/25)	「岬町の観光資源と取り組み」	岬町まちづくり戦略室 保井太郎

#### 4. その他の活動および活動報告会の実施

##### (1) 「農業祭」への参加

「熊取産業振興ビジョン」(2011年)を受け、2012年12月、第1回「熊取ふれあい農業祭」が開催された。町内農業者と住民の交流を通して農業への理解を高め農業振興を図るとともに、地域のにぎわい創出を目指すものであって、野菜市、品評会出展野菜展示、伝統料理(熊取雑煮他)の提供、地元野菜を使った料理販売、農地見学・収穫体験、その他の体験コーナーやステージパフォーマンスなどが行われた。

産業ビジョンの策定にあたっては、当時のRUSHメンバーが学生代表として参画したが、農業祭実施に向けた「にぎわい創造会議」にも、学生代表としてプロジェクトメンバーが加わっている。第3回(2014年度)は黒田みさ、2015年度は日根野谷悠真と有馬知佳の2名が、会議に参加している。農業祭当日には、収穫体験バスツアーの誘導案内、また、RUSHプロジェクトとして毎年ブース出展し、地域住民との交流を図っている。

##### (2) 「イルミネーションナイトー光の回廊ー」への参加

冬場のにぎわい創造を目的として、2014年度から新たに「熊取イルミネーションナイト」が実施されてい

る。12月に入ると装飾が始まり、中旬の土曜日に煉瓦館・中家住宅を会場として「光の回廊」イベントが行われた。中家住宅内には町民により作成された行灯が飾られ、庭には雪だるまやハートなどの作品がキャンドルホルダーで描かれた。

RUSHプロジェクトからは、2014年度には宋榮弼が、2015年度は宋榮弼と柳澤詠美の2名が、学生運営委員として参加した。イベント当日はRUSHメンバー総出で光の回廊づくりに協力、2014年は熊取町のキャラクター「ジャンプ君」をキャンドルホルダー300個を用いて作成した。2015年は「ジャンプ君」と「メジャーちゃん」を作成した。

##### (3) ‘食’プロジェクト

山中弓子先生に指導いただきながら、地場産品を使った調理実習やレシピ開発に取り組んでいる。フィールドワークや協働事業を通して苺・筍・玉葱・水なすなど地場産品の収穫体験の機会を得ており、2015年の「大人の社会見学」の昼食時には、玉葱を使ったオリジナルデザートを提供した。泉州玉葱丸々1個を使ったスイーツは参加者に好評であった。

開発したオリジナルレシピの一部は「山中弓子先生&泉州RUSHプロジェクトのコラボレーションレシピ」として、地元新聞ニュースせんなん紙に公開されている。また、シティプロモーション推進課発行の「くまとりレシピブック」(2015年)に、RUSHプロジェクト発案の“水なすのコンポート”“水なすの犬鳴ポーク肉詰め”“ピシソワーズ”“季節野菜サラダ”が掲載された。

##### (4) 活動報告会

協働事業については、年度末の町への報告書の提出とともに、本学の「明光祭」で事業報告会を実施している。また、ゼミナールで出店の模擬店内にRUSHプロジェクト活動に関する掲示を行い、地域住民や卒業生を含む交流の場としている。

#### 5. 最後に

RUSHプロジェクトが発足し8年目となる。3月には4年生が卒業し、4月には新3年生が新たに加入する。毎年約半数のメンバーが入れ替わりながら、常時10数名の学生がRUSHプロジェクトに係わっている。2015年度は、13期生の日根野谷悠真、宋榮弼、劉伝、

李林波、14 期生の柳澤詠美、有馬知佳、仁科優、ミンタンダーウー、ポーピュインピューチャー、ティティチーらが本プロジェクトを推進した。男子 3 名、女子 7 名の総勢計 10 名、日本・韓国・中国・ミャンマーとかつて無い多国籍チームとなった。

さて、2014 年 4 月には役場企画部にシティプロモーション推進課が設置され、地域の交流人口の拡大、転入促進に向けた様々な施策が展開されている。2015 年度には、「食のブランド創造会議」、「モノのブランド創造会議」、「まち・ひと・しごと創生推進会議」など地域振興・地域活性化に向けた新たな会議が発足し、RUSH メンバーもそれぞれ学生委員として会議に参加している。

2015 年秋の明光祭で 13・14 期生が事業報告を行った。その聴衆の中に、第 1 回目の協働事業に関わった 9 期生の姿があった。9 期の卒業生たちは、自分たちが学生時代に試行錯誤で始めた活動が着実に後輩たちに引き継がれていることを喜び、報告を行った 13・14 期の現役学生たちは、ツアーポスターの中で見かけていた上級生が自分たちの発表に耳を傾け活動の継続を喜んでくれたことに感動した。その光景に出会った筆者自身には教

員冥利につきる瞬間であった。

活動でお世話になっている方がたや交流のある方がたが学祭を機会に来校され、感想やアドバイスを下さったり、現役メンバーたちが知り得ない上級生の情報を寄せて下さる。地域への貢献が果たしてどれだけできているのか心許ないが、活動を継続するなかで学生たちが得ているものは多い。

町との協働事業も 5 年が経過し、新たな方向性を模索する時期にさしかかっている。2016 年度の事業も確定しており、今後は町の転入促進と連動した協働事業を目指す予定である。知識の蓄積や経験の継続性などの課題はあるが、5 年間で得たものを次への力とし、次の 5 年を目指しさらに活動を推進していきたい。

#### 【謝辞】

泉州 RUSH プロジェクトの活動にかかわって下さった全ての皆様に感謝いたします。

#### 【付記】

熊取町住民提案協働事業実施にあたり熊取町から補助金をいただいた。

資料 1

大阪観光大学泉州 RUSH プロジェクト・熊取町 平成26年度協働事業

味わい泉州 熊取の旅

平成26年7月26日(土)  
天王寺発(8:00)～天王寺着(18:00)

4,980円  
3,980円

長池オアシス  
ハスの葉をのぞいてハスをお楽しみ下さい

泉州水なす農家の見学  
水なすの成長をご見学下さい

「味わい泉州」こだわりランチ  
智の泉州食材を使ったオリジナルメニュー

泉州アジ体験  
水なす漬け 藍染め

お申込みお問合せ  
株式会社クラウン観光交社

大阪観光大学泉州 RUSH プロジェクト・熊取町 平成27年度協働事業

味わい泉州 熊取の旅

平成27年7月25日(土)  
天王寺発(8:00)～天王寺着(18:00)

4,980円  
3,980円

長池オアシス  
ハスの葉をのぞいてハスをお楽しみ下さい

泉州水なす農家の見学  
水なす収穫体験!!

「味わい泉州」こだわりランチ  
旬の泉州食材を使ったオリジナルメニュー

泉州アジ体験  
水なす漬けの試食

お申込みお問合せ  
株式会社クラウン観光交社

「味わい泉州—熊取の旅—」ポスター 2014年・2015年  
デザイン: K.Kuramitsu & RUSH

旬をいただく 地産地消の健康料理

カリカリごぼうサラダ

作り方

①ごぼうは3cm長さの千切りにし、熱湯にさらして水気をとる。サラダ油を160度熱し、ごぼうの裏面に油がはねなくなるまでカリッと揚げます。

②茹かしたごぼうはよくスライスし水にさらして水気をとる。

③水菜は3cm長に切る。スプラウトは根の部分を取り除く。

④オリーブオイルを熱し、そこに揚げたごぼうを加え、7分ほど炒め混ぜる。

⑤和風ドレッシングを振りかける。

【泉州の旬食材】  
泉州の旬食材を多く取り揃えている60名以上の産地観光バスツアーで、熊取町や水なす農家の見学や収穫体験などを実施しています。

旬をいただく 地産地消の健康料理

旬の白和え

作り方

①ほうれん草、春巻は縦半分に、水に取る。ほうれん草を千切りにし、1のゆで汁で茹でてから冷ます。

②ほうれん草、春巻は3cmの長さで切る。

③豆腐は縦半分に、キッチンペーパーで水切りする。

④ゆでたほうれん草は、から炒めして、えんじんとともに炒め、口もとでゆで汁を加える。

⑤ゆでた白子菜をすり鉢ですり、白身を混ぜ、塩を加えて混ぜる。

⑥ほうれん草、春巻、こんぶ、えんじんと⑤の和え方で和える。

【泉州の旬食材】  
泉州の旬食材を多く取り揃えている60名以上の産地観光バスツアーで、熊取町や水なす農家の見学や収穫体験などを実施しています。

山中弓子氏 & RUSH オリジナルレシピ  
2013.12. ニュースせん

資料 2

◆味わい泉州 熊取の旅 26日8時、天王寺発の貸し切りバスに乗り、熊取町の水なす農家、国重要文化財の中家住宅、泉佐野漁協青空市場などを見学する。大阪観光大学の学生らが企画したツアーでガイドも学生が担当。水なす漬けや藍染めの体験、泉州の食材にこだわった昼食つき。先着25人。大人4980円、4～11歳3980円。申し込みはクラウン観光交社(06・6696・2601)。14日締め切り。

2014.7.4. 朝日新聞

泉州の魅力がたっぷり バスツアー参加者募る

大阪観光大学生が企画  
大阪観光大学(大阪府熊取町)の学生が企画したバスツアー「味わい泉州 熊取の旅」の参加者を募集している。地元産の魅力を伝えるため、2014年7月25日(土)午前8時、天王寺発のバスツアー「味わい泉州」の一環で、今年度4回目。ツアー内容は、水なす農家の見学や水なすの漬け体験のほか、農水産物のため池100選

2014.7.12. 毎日新聞

大阪観光大が公開講座  
地元泉州の観光発信

大阪観光大学(大阪府熊取町)は、8月6日(土)午後2時、泉佐野漁協青空市場で地元産の魅力を発信する公開講座「地元泉州の観光発信」を開催する。講師は、観光業界に詳しいRUSHプロジェクトの代表者。参加費は無料。申し込みはRUSHプロジェクト(06・6696・2601)。

2014.7.5. 観光経済新聞

大阪観光大 学生提案のバスツアー  
地元泉州を紹介

熊取町の学生たちが、夏休み期間として企画したバスツアー「味わい泉州」が、7月26日(土)午後8時、天王寺発のバスツアーとして行われる。このツアーは、熊取町の水なす農家の見学や、泉佐野漁協青空市場での水なす漬け体験、泉州の食材を使った昼食つきなどを実施する。申し込みはクラウン観光交社(06・6696・2601)。

2015.7.16. 朝日新聞

観光大生企画のバスツアー  
大阪観光大学 熊取町の学生らが企画したバスツアー「味わい泉州」が、7月25日(土)午前8時、天王寺発のバスツアーとして行われる。このツアーは、熊取町の水なす農家の見学や、泉佐野漁協青空市場での水なす漬け体験、泉州の食材を使った昼食つきなどを実施する。申し込みはクラウン観光交社(06・6696・2601)。

観光大生が企画、添乗 泉州ツアーを実施

大阪観光大学(大阪府熊取町)の水なす農家の見学や、泉佐野漁協青空市場での水なす漬け体験、泉州の食材を使った昼食つきなどを実施する。申し込みはクラウン観光交社(06・6696・2601)。

2015.8.1. 観光経済新聞

長池オアシスで、ハス茶ある体験も実施  
水なすの収穫体験も実施

大阪観光大学(大阪府熊取町)の水なす農家の見学や、泉佐野漁協青空市場での水なす漬け体験、泉州の食材を使った昼食つきなどを実施する。申し込みはクラウン観光交社(06・6696・2601)。



2014.8.2. 観光経済新聞

水なすの収穫体験

大阪観光大学(大阪府熊取町)の水なす農家の見学や、泉佐野漁協青空市場での水なす漬け体験、泉州の食材を使った昼食つきなどを実施する。申し込みはクラウン観光交社(06・6696・2601)。

資料 3



くまとりレシピブック

資料 4

1. 「味わい泉州—熊取旬の旅—」(2014・2015)



2. 交流イベント「大人の社会見学」(2014・2015)



3. 地域連携講座



4. 地域フィールドワーク



5. 農業祭



6. イルミネーションナイト



7. 活動報告会



8. その他

